

事務事業事後評価表

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	消耗品管理業務		担当課 【2】	会計課							
			評価者(担当者)	安富 弘信							
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	⑥みんなで進める協働のまちづくり					重点 施策 【4】				
	主要施策(節)	(5)行財政運営の効率化									
	施策区分							<input type="checkbox"/> 該当			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> その他の計画【		年度予定	:	金額	千円【					
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務										
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	2	項	1	目	1	細目	26

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景 (どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	景気低迷による税収の低下や普通交付税等の合併算定替えの段階的縮小による歳入減など、厳しい財政運営が予想されることから、歳出の可能な限りの縮減が必要である。
対象(誰、何に対して) 【9】	消耗品の必要な課(職員)
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	各課の消耗品の予算を当課で一元管理することで、予算消化のための大量購入や華美な消耗品の購入を防止し、経費の削減を図る。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 H20 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	再生紙やトナー等の消耗品を会計課において一括管理し、各課の要請を受け配布を行っている。 購入については、華美なものを避け、大量に使用する再生紙やトナーについては、競争見積り等での購入削減を図っている。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ⇒ ① 消耗品管理業務 ② ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H23年度決算	H24年度決算	H25年度決算	H26年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円)	国庫支出金	%				
		県支出金	%				
		起債	%				
		受益者負担					
		その他					
		一般財源	9,180	9,494	9,872	10,542	
	【16】 小計	9,180	9,494	9,872	10,542	0	
	[再掲]臨時・非常勤職員人件費(千円)	1,126	1,152	1,144	1,207		
	職人 員 件 の 費	職員人工数	1.20	1.20	0.15	0.15	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,685	5,610	5,610	5,610	
【17】 小計	6,822	6,732	842	842			
合計		16,002	16,226	10,714	11,384		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 消耗品管理業務	経費削減のため、消耗品の一括購入を行う。	購入回数	回	196	239	250	250
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1						
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性 【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	
	目的の妥当性 【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	
	廃止・休止の影響 【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	
有効性 (判定)	目標の達成度 【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	
	成果向上の余地 【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	
	上位施策への貢献度 【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地 【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	
	民間の活用の余地 【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	
	執行方法改善の余地 【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	
	事業統合の余地 【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	
公平性	受益者負担の余地 【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性 【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	消耗品の一元管理(購入窓口の一本化)を行うことで一括購入によるコストの削減を図りながら現状のまま継続する。
昨年からの見直し・改善状況 【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見 【33】	財政状況が厳しい中、購入窓口の一本化によりコスト削減を図る必要がある。	評価責任者 宮本 道之
----------------------	-------------------------------------	----------------